

<1・17 国会ヒューマンチェーン 女の平和> に参加して

私は 10 年ほど前から、通称 VAWW RAC (バウラック)、「戦争と女性への暴力」リサーチ・アクション・センター (Violence Against Women in War Research Action Center) の賛助会員です。この活動は尊敬する松井やよりさん、東海林路津子さんがリーダーとなって、女性国際戦犯法廷が開かれ、日本の戦争責任を問う問題を提起されました。特にアジアでの戦時下における女性への性暴力を、被害者や、様々な証言者によって、告発し、謝罪、賠償を求める運動でした。いまだにこの戦争責任に対して何の明確な解決がなされていないことは、悲しい、申し訳ないことだと感じています。バウラックは、この問題の調査・研究・運動を継続し、展開しています。

バウラックからいつもネット配信される情報によって、<1・17 国会ヒューマンチェーン 女の平和> のイベントを知りました。女の平和実行委員会 (呼びかけ人 327 名) の主催で、主として

- (1) 集団的自衛権 絶対反対 よその国の戦いには加わりません！
- (2) 特定秘密保護法 絶対反対 この国の主権者は私たちです！
- (3) 戦争法制 絶対反対 誰一人戦争に行かせません！

を訴えて、女性の鎖で国会議事堂を囲もうとする非暴力の平和的なデモンストレーションです。これに賛同するものは 1 月 17 日 (土) 午後 1 時に赤い色を身に着けて国会前に集合という事でした。この日は「阪神・淡路大震災の 20 年記念日」で、日本の危うさを否応なしに感じる日でもありました。

「赤い」女性たちは、国会議事堂を囲んで、声を上げ、声を合わせ、手をつなぎ、祈りを込めて、平和を訴えました。赤のコート、着物、マフラー、ショール、帽子、靴下の女性が 7000 人以上集合！呼びかけ人うち、20 人位くらいの方々が次々と、赤い声をあげ、私たちは赤い拍手をしました。



講談師・神田香織さん (左) “安倍首相！嘘を言うな！楽しいウソは私たちに任せて”



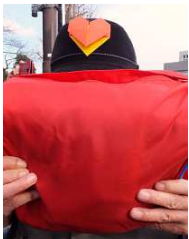
看護師・宮子あずささん (右) “女性が輝く社会は男性化した女性の世界？”



コラムニスト・落合恵子さん (左) “女性がこんなに集まって声をあげられるのは本当に嬉しい。この声を聞いてほしい”



作家・澤地久枝さん (右) “社会が戦争前と同じ雰囲気になっているのをヒシヒシとを感じる”



秋吉さん (左) のつぶやき “女性ってすごい！いつもここでデモをするけれど、こんな運動は男性にはなかった” (赤い靴)
私 (右) のつぶやき “お母さんとおばあさんの参加が多いみたい。息子や孫を思ったら、平和が一番！” (赤い帽子)
(折り紙ハート・マークとリボンは主催者からの贈り物)



とても寒い真冬の土曜日で、声を聞いて欲しい首相は外遊中とのこと。「帰ってこなくていいよ～ このまま世界中回っていなさ～い」と声が出て皆大笑い。和やかで、粘り強さを感じさせられる女性ならではの集まりでした。基地に苦しむ沖縄や横須賀から、原発事故被害に苦しむ福島からの参加者のスピーチもありました。外国人の参加もありました。男性も沢山参加しています。またファッションブルな女性が沢山おられて、さすがです。隣の人としっかり手をつなぎ合って、4回チェーンを作り、「レッドカード、レッドカード、安倍政権！」と叫びました。